

おだか



南相馬市小高区4小学校
学校便り
第 34 号
2018. 1. 19

介助犬がやってきた



12月18日（月）に、全校生で介助犬の学習をしました。神奈川県にある日本介助犬協会から講師の方をお招きして、「ガンバレ！介助犬！J A 共済はたらくワクワクランド！」を行いました。

介助犬の紹介や役割、仕事の内容、絵本の読み聞かせ、クイズや子ども達を交えたデモンストレーション、ふれあいの時間など、2時間のプログラムでしたが、あっという間の体験学習でした。2020年にはオリンピック、パラリンピックが控えています。今回の学習を通して、障がいに対する理解を深めるとともに、交通事故被害者など障がい者の手足となって働いている介助犬について知ることができました。

車いすバスケットボール教室



12月13日（水）に、5・6年生が、チャレンジド・スポーツ体験教室「アスリート・ビジットin福島」を開催しました。講師は、福島県における車いすバスケットボールのプロチームである、「THE EARTH」の皆さんです。講師の中には、北京パラリンピック日本代表選手もいました。

チームに分かれて、車いすを操作したり、実際にバスケットボールのミニゲームをしたりしました。プロ選手のボールハンドリングはすばらしく、車いすで移動しているとは思えないほどの素早い動きと迫力でした。学習の最後には、トークセッションを行い、諦めずに頑張ることの大切さを教えていただきました。

スポーツは「する・見る・支える（応援する）・知る」の要素があります。今回の学習では、そのすべての要素を体験することができました。これから、東京パラリンピックに向けて、代表を目指す選手の皆さんを、全力で応援していきましょう。